

世界展開力強化事業 長期留学（メキシコ）第1回報告書

2016年9月10日

農学科 3年 川端美潤

8月8日、日本を出発する予定だったがデルタ航空のシステムトラブルで欠航となってしまう、空港近くのホテルで一夜を過ごした。翌日出発はできたものの、前日の影響で搭乗が非常に大変だった。また、予定していた便と違う便に乗らなければならぬ乗ったが、スーツケースは予定の便で運ばれてしまい手元に届くまでにとても時間がかかった。メキシコに着いたのは9日の深夜で、学生寮（autoconstrucción）に直行したが、ここでも部屋が浸水していたり、シャワーのお湯が出ないという問題があり、留学のスタートは不安でいっぱいだった。最初の1週間は大学の様々な手続きで移動も多く、慣れないスペイン語での説明にあたふたし、また上記のような問題もあり、正直とても時間が経つのが遅く、辛かった。しかし、1か月経った今は、日本にいるときは、大学とアルバイトが主で機械的な生活を送っていたんだなあと感じるほど、毎日が充実している。

1. 学校生活

私は、Fitotecnia という学部で普段生活している。チャピング自治大学（UACH）では農大の農学科がいくつもの学部に分かれており Fitotecnia は主に園芸作物やバイオテクノロジー植物ウイルスについて学ぶことができる。今回、私は3つの授業を履修した。

【Frutales Perennifolios】

火曜日：7:30~9:00 木曜日：7:30~9:00 金曜日：12:00~14:00（practica）

主に熱帯果樹について学習する教科で、1つの果樹に対して1カ月かけてじっくり学べるので魅力的である。この教科は早速テストもあり、クラスメートや仲の良い友達に手伝ってもらい何とか乗り超えたが、メキシコだけで使われているスペイン語の専門用語が非常に多く、理解するまでに多くの時間を要した。毎週金曜日にある、practica は学習している植物についての生態観察や実験を行っているが、クラスのみなどと和気あいあいと取り組めるので、とても楽しく笑いが絶えない。

【Cultivo in vitro de células y tejidos vegetales】

火曜日：13:30~15:00 木曜日：13:00~15:00 金曜日：9:00~11:30（practica）

植物組織培養について学習することができる。火曜日と木曜日の授業は実験の概要を習い、金曜日の practica は習ったことを実践する時間である。現在はテキーラの培養実験を行っており、日本では経験したことがないので新鮮な気持ちで臨めている。先生がとっても熱い方で授業が劇のようです！！

【Postcosecha de productos hortícolas】

月曜日：13:30~15:00 水曜日：13:00~15:00

農大の「ポストハーベスト論」の授業に似ており、ポストハーベスト研究室にも所属しているので一番理解しやすい授業である。しかし、扱う作物は熱帯果樹が多いので日本で習った時とは違う視点を持つことができる。

全体的に日本と授業の雰囲気は異なると感じている。1つの授業に対して生徒は30~40人程度であるし、先生と生徒のコミュニケーションが頻繁にあるので質問しやすい環境でもある。

Fitotecnia は英語ができる先生や生徒がほかの学部に比べて非常に少ないのでコミュニケーションをとるのに苦労しており、早くスペイン語を習得したいという気持ちでいっぱいである。言葉が通じなくても助けてくれる友達が非常に多く、帰国するころにはこの友達とスペイン語でスムーズに会話できるようになればなとも感じている。

また、日本語の授業（月曜日~木曜日：17:00~18:15）にも参加している。スペイン語が全くできないので、本来はスペイン語の授業を受けたいがいないため、日本語の授業では日本語の後にスペイン語を先生が話すので多少は勉強になるかなと思い、参加させていただいている。日本語の授業では日本に興味を持った生徒が多いため、授業後に日本のことをたくさんスペイン語で会話できる語学力の向上にもつながるし日本のことをメキシコ人に知ってもらおう機会を持てうれしく思う。

放課後は図書館で友達と宿題をしたり、趣味が共通の友達とダンスをしたり楽しく過ごしている。学校にはゲームセンターやビリヤード場、ダンススタジオやスポーツセンターもあり学校の中で娯楽も楽しめる環境であるため、ずっと学校にいても飽きない。

そして、学校で行われるイベントも迫力がとてもあり、楽しい。先日、別の学部 DICEA でミスコンが行われ友達と見に行った。ミスコン出場者の発表がメキシコの伝統的な舞踊、歌、hiphop のダンスなど様々でどれも完成度が高く大学のイベントとは思えなかった。このイベントに行った際にとっても驚いたことが、ゲイが多いことである。特にこの学部は多く、ゲイのミスコンが目を見詰めるくらい完璧で感動してしまうほどだった。日本ではマイナ



スのイメージがあると思うが、メキシコでは普通のことであり、かなりの男性がゲイであるらしい。私もメキシコに来るまではゲイの人とかかわりをもったことがなかったのでカルチャーショックだなと思っていたが、ゲイの友達とかかかわると良い方ばかりでイメージが 180 度変わった。

2. 食事について

寮にキッチンがなく、料理が禁止なので 3 食すべて学校の学食 (campestre) で食べている。学食といっても農大のものとはかなり異なり、どちらかという小中学校の給食に近い。UACH の学生のほとんど、敷地内の 3 つの学食のどこかで 3 食とも食べるので、学食はいつもにぎわっている。日本人が目立つからではあると思うが、声をかけてくれる学生が多くここで出会って今、仲の良い友達もたくさんいる。メキシコでは昼ごはんをたくさん食べることが一般的なため、夜ご飯にシリアルやサンドイッチのような軽いものが多いのでいつも驚く。学食では時々日本人の口には合わないような、びっくりするメニューが出る。バナナの入ったチャーハンやチリ入りのアイスなど・・・友達はおいしいといって食べるが、まだ慣れない。

また、寮の近くや学校の中にメキシコのファーストフード (タコスやケサディージャ) もあるので時々行く。値段は安く学食に比べたらとてもおいしい。(腹痛になったことはないのですが衛生面はかなり心配です・・・)

私は、メキシコにきて 2 週間もしないうちに日本食が恋しくなってしまったが、UACH のあるテスココにもメキシコシティにも日本食のレストランがあり、スーパーにもインスタントみそ汁や焼きそばなどが売っているのでその点は安心である。

3. 寮について

Autoconstrucción という寮は Fitotecnia の校舎までは 20 分程度かかる。しかし、メキシコの寮にしてはきれいで安全面もしっかりしているので安心して暮らしている。1 つの棟は 3 階建てで各階に 4 部屋あり、1 部屋を 2 人で使うことになっている。私の棟は、1 階はコロンビアとチリ、コスタリカの留学生で 2・3 階はメキシコ人が住んでおり、多国籍でみんなフレンドリーなので楽しい。しかし、日本と同じ暮らしができていないかと問われると、やはり不便な点もある。1 つは、最初にも書いたが、私たちの棟だけガスがついていないためシャワーが高確率で水しか出ないことが多い。初めのうちは水で我慢していたが、メキシコはすでに冬に向かっており一度風邪をひいてしまったため、最近では友達の棟に行きシャワーを貸してもらっている。大学の Intercambio office や Autoconstrucción の office に何度もガスをつけるようお願いしているが全く動きが見られないので心配であるし、水しか出ないことがストレスに感じることもある。2 つ目は洗濯である。Autoconstrucción 内に洗濯屋はあるが、服を失くされてしまったのでそれ以降、自分で洗濯板で洗うようにしている。

Autoconstrucción 内には自習室もあり、夜 12 時まで（試験期間は翌朝 5 時まで）開いているので、週 2~3 回利用している。仲の良い友達も同じ所に住んでいるので、夜にスペイン語のレッスンをしてくれ、夜中まで有意義な時間を過ごせる。

4. 休日の生活

土日は常に予定が入っている。メキシコの友達やここに住んでいる日本人の方々に様々な場所に連れて行ってくれるので、週末がいつも楽しみである。最近ではテスココにあり自然がとてもきれいな”Los baños de Nezahuacoyotl”やメキシコシティの中心街へ行った。”Los baños de Nezahuacoyotl”は同じテスココにあるとは思えないほど自然が豊かであった。ハイキングが主の場所なので体力が使うが、途中でツナ（サボテンの実）を獲って食べたり、メキシコの民芸品を買ったりし、日本のハイキングとは違う楽しみがあり印象に残った。メキシコシティは独立記念日も近いので装飾が施されており、イベントが行われていた。イベントでいくつかの伝統的なメキシコの食べ物を食べたが、トウモロコシ

が主にしたものが多かった。飲み物にもお菓子にもトウモロコシであったので、味に不安はあったが食べると、きな粉が入っているような味でおいしかった。

今は、メキシコの独立記念日（9月15日・16日）UACHで行われるパーティーに行く約束をしているのでとても楽しみである。



今後は学校生活を満喫できるよう、スペイン語の勉強に一層力を入れていきたい。また、卒業論文としてマンゴーのポストハーベストに関する実験をやらせていただけるよう先生と話を進めているので、近々始められれば良いと思う。